

令和 7 年度 教育指導の重点及び学校経営計画					
		学校番号	20	学校名	池田高等学校
社会的役割等 (スクール・ミッション)	地域に根ざし、地域と連携するユネスコスクールとして 地域の活性化や課題解決に向けた探究的な学びを通して 何事にも挑戦し持続可能な社会の発展に貢献できる人材の育成を目指す学校				
学校教育目標 (教育方針)	～生徒一人一人を大切にし、E S D（持続可能な開発のための教育）を推進するユネスコスクール～ 校訓「向学・友愛・練磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に 貢献できる人間の育成に努める。				
3 つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【G P】	・ 池高で身に付けた知識やスキルを活かして、自立（自律）し、自分で考え、困難に立ち向かう努力ができる生徒 ・ 池高で伸ばした個性や知性を武器に、環境の変化を恐れず、自信をもって挑戦できる生徒 ・ 池高で育んだユネスコスクール等の理念を誇りに思い、持続可能な地域・社会・未来の実現に向けて、多様な人々と協働しながら、地域のリーダーとして行動できる生徒			
	生徒をどう 育てるか 【C P】	・ 個々の生徒の能力や学習状況等に応じて常に工夫改善し、生徒自らが学力の定着と向上を図っていく、探究的な授業の実施 ・ 授業や課外活動で培った知識・スキルを活かし、主体的で協働的な探究活動を通じて、自身のキャリアステージにつなげる「総合的な探究の時間」の実施 ・ ユネスコスクールとしてE S D、S D G s を推進し、グローバルな視点を持ちながら、地域と協働する実践的な探究活動の実施			
	どんな生徒を 待っているか 【A P】	・ 将来の夢や目標に向け、自分の基礎を築き、自分の強みを伸ばすために、探究的な学びに挑戦したい生徒 ・ 自身をしっかりと見つめ、さらに多様な他者との対話を通して、考えを広め深める体験がしたい生徒 ・ ユネスコスクールの理念に賛同し、福祉・環境・国際等の分野で活躍したい生徒			
学校の抱える課題	・ 探究を教育課程の主軸と位置付ける本校において、各教科における探究的な学びに向かう資質の育成 ・ 自ら自己指導力や規範意識を高め、安心安全な学習環境を整えることができる生徒の育成 ・ 多様な考え方や立場・意見、異なる価値観に触れ、自らの考えを表現する論理的思考力・表現力の育成 ・ 業務量と働き方改革推進のバランス				
教育指導の重点	領域・分野	今 年 度 の 具 体 的 な 重 点 目 標			
	学校経営	保護者や地域の期待に応える魅力ある学校づくりを目指すとともに、働きやすい職場づくりに努める。			
	学習指導	主体的・協働的な学びを通して、豊かな人間性と自ら学び自ら考える力を育成し、新しい時代を生き抜くために必要な力を育成する。			
	進路指導	自己の能力や適性を正しく理解し、将来を見通した進路目標を確立し、その進路実現に向けて主体的に行動する能力や態度を育成する。			
	生徒指導	全職員による「生徒指導はあらゆる教育活動のなかで機能すべきである」という共通認識のもと、望ましい人間関係を築く力と自己指導能力を育成する。			

年 度 目 標				年 度 末 評 価（自 己 評 価）			
領域 分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	自ら課題を設定し、主体的に判断・行動し、よりよく 問題解決を図る生徒の育成	施策Ⅰ-1	生徒及び保護者等アンケートにおいて 学校生活の充実に関連する項目での肯定 的評価の割合				
	地域や外部教育機関と連携し、多様な人々と協働しな がら地域のリーダーとして行動できる生徒の育成	施策Ⅰ-4	探究的学習活動やボランティア活 動等での外部との連携や活用の実 施数				
	出退勤管理システムによる正確な勤務時間管理を行い 自己の働き方を見直す。	施策Ⅳ-27	時間外在校時間 4 5 時間を超える 職員数				
学習指導	個別最適化された学びに対する職員研修を活発に行い 基礎基本の定着と学力の向上を図る。	施策Ⅳ-26	年2回の生徒授業評価 （授業の理解度評価）				
	探究的な学びを全科目に取り入れ、他者と協働して 主体的に取り組む姿勢を育成する。	施策Ⅱ-8	年2回の生徒授業評価 （探究的な学びに対する生徒の実 感評価）				
	探究活動を通して、持続可能な将来の実現に向けて 課題を発見し解決するための資質・能力を育成する。	施策Ⅰ-1	探究の時間の成果物 外部コンテストの成績 年2回の生徒授業評価				
進路指導	発達段階に応じた進路ガイダンスの実施により 進路意識の高揚を図る。	施策Ⅰ-1	キャリアパスポート内「一年間の 振り返り」における肯定的評価				
	地域や上級学校との連携による組織的・計画的な 進路指導を行う。	施策Ⅱ-13	コース別ガイダンスの内容の充実 と参加率の向上				
	学習支援システム（スタディサプリ）の効果的な運用 と、ICTを活用した小論文・志望理由書対策を行う。	施策Ⅱ-9	スタディサプリの活用率の向上				
生徒指導	時間励行（遅刻防止）と明るい挨拶の実践による 生活指導を行う。	施策Ⅰ-3	出席状況、保健室及び教育相談室 の利用状況、S C の利用状況				
	身だしなみ・着こなしに係る指導や集団生活のルール を徹底することにより、安心できる集団作りを行う。	施策Ⅲ-19	「心のアンケート」				
	自他を尊重する態度を養い、他者と共によりよく 生きるための基盤となる道徳性を育成する。	施策Ⅰ-2	各行事におけるアンケート				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和8年 月 日